

もう、困らない社会をつくる。

普久原 那覇市議会議員・写真家

あさひ

普久原あさひ  
政務活動報告書

2025年  
10月号

9月定例会のご報告  
こんな質問をしました！

- 末吉公園と自然環境保全
- なはーと業務トラブル
- 公用車NHK受信料問題
- 学童・まなびクーポン・ひとり親
- LGBT差別反対

【詳しくは中面へ】



【冒頭所感】

多様性を認める那覇市へ

～LGBT差別的発言に抗して～

はいさい、普久原あさひです。

9月定例会にて、ある議員が「学校でのLGBT教育はトランスジェンダーを増やす」「ネットで動画を見て伝染する」「ポルノ洗脳」などと発言しました。これは当事者を深く傷つけ、誤解と偏見を助長するものです。

トランスジェンダーは「なる」のではなく、すでに存在しています。その存在を否定したり、見えなくすることこそが問題です。学校は差別を助長する場ではなく、多様性を尊重し、子どもたちが安心して学べる場であるべきです。

議会での言葉の重みを忘れず、那覇市が「誰もが当たり前に尊重されるまち」であり続けるよう、これからも声を上げてまいります。



現場の声を大事にします！

もう、困らない社会をつくる

普久原 あさひ

【プロフィール】 那覇市議会議員・写真家／1994年那覇市生まれ。2021年初当選。2025年より2期目。文化芸術、子育て、福祉、環境問題を中心に活動中。

皆様の困ったを教えてください！

〈生活の中での不便やお困りごとをぜひお寄せください〉

【普久原あさひ事務所】

〒902-0067 沖縄県那覇市安里381 (栄町市場東口より徒歩20秒)

080-3982-4178 asahi.f.info@gmail.com

SNS・最新情報

下記のQR  
コードより



# 那覇市議会9月定例会（2025年9月4日～10月8日）のご報告

## 当事者の声を議会へ — 暮らしの安心を築くために

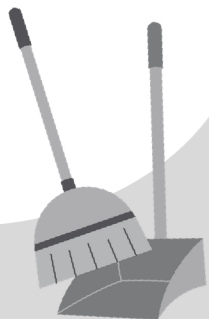
暮らしの中には行政の目が届きにくい課題が数多くあります。現場に立つ当事者の声を丹念にすくい上げ、議会の場で問い、政策につなげていくことが私の役割です。今定例会では、環境保全から文化芸術、受信料、子育て・教育支援まで、暮らしに直結する課題を取り上げ、市の姿勢を問いました。



### 【環境行政】

#### 末吉公園の自然と歴史を守るために

末吉公園では、外来種ポトスの繁殖や清掃方法が生態系に影響を与えている現状を指摘。市民や「森の家みんな」と公園管理課が協働し、自然環境に配慮した管理と教育を進めるよう求めました。市からは意見交換会開催の検討や照明消灯など配慮を進めるとの答弁がありました。



### 【文化芸術行政】

#### 「なは一と」業務トラブルの真相

舞台制作者との業務キャンセルをめぐるトラブルについて質問。職員とフリーランスのやり取りで具体的に依頼し承諾の返事があるにも関わらず、市は「契約ではなかった」と回答。市の対応に不備があると指摘し、今後アーティストやフリーランスの権利保護を徹底するよう求めました。

#### 契約書



¥

### 【受信料制度】

#### 公用車のNHK受信料

議会質問により公用車のNHK受信料未払いが約310万円あることが発覚。不要な受信機能の撤去で税負担軽減を提案し、「原則アンテナを外すなど処置を講ずる」との答弁がありました。



### 【子育て・教育行政】

#### 学童、まなび、ひとり親支援

##### 1.学童保育

待機児童107人。未実施の国事業6つの早期実施を要望。特に育休中の自動退所を問題視し、市長に柔軟対応を求めました。

##### 2.まなびクーポン

高校生対象拡大の要望を紹介。市は県との役割分担で慎重姿勢も、連携による改善を求めました。

##### 3.ひとり親支援

母子6,700・父子900世帯。養育費履行確保支援事業が開始。制度の周知と拡充を求め、市は広報強化を答弁しました。

